



相談部だより

栃木県立わかさ特別支援学校
R7.3 発行

令和6(2024)年度 相談部 後半の取組について紹介します。

教育相談週間

11月18日(月)から一週間、校内において教育相談週間を実施しました。

本校は昨年度から、児童生徒へのよりよい支援に向けて、必要に応じてSSW(スクールソーシャルワーカー)やSS(スクールサポーター)などの専門機関と連携し、教職員(養護教諭含む)や学校看護師などが集まっの情報共有や意見交換等を積極的に進めてきました。

相談部教育相談係は、このような複数の教職員等でチームを組み、共通の支援目標や方針を持って役割分担をしながら児童生徒を支援する「チームによる支援」実現のための調整役として取り組んでいます。本校の教育相談の在り方、そして調整役としての係の位置付けを、再度校内教職員に向けて周知する機会として、また教職員の声を係として聞く機会として、今年度から教育相談週間を設けました。

この期間に実施したこととしては、大きく二つあります。

一つは、本校を取り巻く健康の森内の関連施設、本校の児童生徒関連の放課後等デイサービス施設などの紹介、そしてSSW及びSSの役割等にも触れながら、掲示という形で情報提供を行いました。いざという時や悩んだ時、教職員がどこにつながるとよいのかを知っていること、またその情報を教職員が保護者の方に情報提供できるということは重要であり、保護者の方の安心や信頼にもつながると考えます。この一週間、多くの教職員が足を止め、掲示物に目を向けておりました。



二つ目は、教職員に向けてのアンケートの実施です。今求められる支援や情報とは何か、多くの教職員の声が寄せられました。本校の教育相談の在り方について、改めて考えるヒントがそこにはたくさんありました。

この教育相談週間において、係として発信したこと、そして届いた声や気付きの一つ一つを大切に、今後も係として努めていけたらと考えています。

次年度は、保護者の方に向けても情報等を積極的に発信させていただく予定であります。

どうぞよろしくお願いします！！



新しい教材教具

今年度も栃木県特別支援学校教育振興会並びに特別支援学校センター的機能充実事業の経費等で、早期教育相談並びに学校支援のための教材教具等を購入させていただきました。校内外において、大切に活用させていただきます。

●ままごとキッチン・ミニ クッキングテーブル



机の上に置いても、4本の脚を付けて床に置いて遊ぶクッキングテーブルです。早期教育相談の幼児さんはもちろん、車椅子に乗っている児童生徒が、カットテーブル上に置いて、調理実習の事前学習等にも活用できると思います。調理器具も併せて購入しております^0^

●おままごとケーキセット



ろうそくをタップすると、ライトが点灯し、ハッピーバースデーの歌が流れます。ごっこ遊びなどで子どもたちの想像力を育み、コミュニケーション能力を高めることにもつながります。

●アンパンマン やきたてパン工場



早期教育相談の子どもたちに大人気のアンパンマン。パン工場でパンを作るだけではなく、お買い物ごっこ遊びも楽しめます。

●ひも通し



カラフルな図形と紐の組み合わせを選ぶのも楽しい紐通しの教材です。指先で細かい作業を行うことで、集中力を高めます。

●定規セット（線引きピットリくん）



専用下敷き（スチール）と一緒に使用することで、マグネット付定規が固定できます。取っ手が付いており、弱い力で押さえることができます。作業的な学習においても活用できると思います。

🍒🍒🍒 さくらんぼ教室（早期教育相談）からこんにちは！！part2 🍒🍒🍒

今年の11月から12月にかけて、早期教育相談（さくらんぼ教室）の子どもたちみんなが、クリスマスツリーを作成しました。飾りの一つ一つは、子どもたちの手作りです。^0^

期間中、校内の教職員もツリーにメッセージを寄せております。

さくらんぼ教室の子どもたちと本校の教職員がツリーを通してつながる、あたたかいクリスマスとなりました。

